女子美×文化財レスキュー

甦る。ふるさとの宝物

津波で被災し修復された陸前高田市立博物館所蔵品

展覧会のご案内

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、女子美術大学杉並校舎110周年記念ホールにおいて、「甦る。ふるさとの宝物 津波で被災し修復された陸前高田市立博物館所蔵品」展を開催する運びとなりました。

展覧会の詳細を別紙の通りご案内申し上げます。
つきましては、取材・広報など本展の周知に格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2018年10月

（お問い合わせ）
女子美術大学
染織文化資源研究所保存修復部門
担当：大﨑　綾子
青谷　徳子
吉原　明江
〒252-8538　神奈川県相模原市南区麻溝台 1900
女子美術大学 10 号館 3 階 1034
Tel:042-778-6810（平日 10 時～17 時）
Mail:embdry@venus.joshibi.jp

展覧会名　：　「甦る。ふるさとの宝物 津波で被災し修復された陸前高田市立博物館所蔵品」展
会　　期　：　前期　2018 年 11 月 1 日（火）～2018 年 11 月 16 日（金）
　　後期　2018 年 11 月 19 日（月）～2018 年 12 月 6 日（火）
開館時間　：　10:00～17:00
会　　場　：　女子美術大学杉並校舎 1 号館 1 階 110 周年記念ホール
休 館 日　：　土・日曜日　※ただし、11 月 3 日（土）、4 日(日)、23 日(金・祝日)は開館
入 館 料　：　無料
主　　催　：　・津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関連携に関するプロジェクト
　　・女子美術大学

● **オープニング・内覧会**　　**日時：2018 年 10 月 31 日（水）16：30～**
場所：女子美術大学杉並校舎 1 号館 1 階 110 周年記念ホール

2011 年 3 月に発生した巨大地震とその後の津波によって、地域に伝わる文化遺産、自然遺産および博物館資料の多くが被災し、甚大な被害を受けました。未曾有の自然災害発生を受け、陸前高田市立博物館では文化庁の支援を得ながら、国内の様々な機関と連携し、被災した資料の救出と再生に取り組んでおり、その成果は日本博物館協会主催の展覧会にて全国各地で公開されています。

2012 年より被災した染織品の保存修復に取り組んでいる本学においては、「甦る。ふるさとの宝物」展として、染織品を中心とした安定化処理後の資料展示及び、その手法の公開を行います。
また、展示期間中に、気仙地方の歴史、人々の営みに焦点を当てた講演会を行います。

この展覧会を通じ、未だ救出されたままの状態で待っている膨大な数の資料の再生が円滑に進み、被災地の博物館機能再生に寄与すると共に、今後発生が懸念される大規模自然災害に備えることができれば、大きな喜びです。

見どころ

① 染織品を中心とした安定化処理後の資料展示

本学では、創立当時から刺繍の専門課程が開設されています。その高度な刺繍技術を染織品の修理に応用し、糸による安定化処理を図ってまいりました。
本展覧会では、修理に使用される道具の紹介、修理の手法を映像でご覧いただけます。

② 安定化処理技術の構築とその紹介

染織品の修理において、洗浄による安定化処理が行われることは稀でした。津波による被災を受けた染織資料には塩分が含まれ、脱塩という新たな技術を構築することが求められました。長い試行錯誤を経て、現在ではその技術も確立されてきております。
本展覧会では、新たな技術といっても過言ではない安定化処理技術の一端をご紹介します。

③ 縄文時代から現代につながる気仙地方の人々の営み

陸前高田を含む気仙地方には、縄文時代の貝塚など重要な遺跡が残されています。現代においても、日本有数の漁業地であり、人々の営みが縄文時代から連綿と受け継がれていることがうかがえます。陸前高田市立博物館には縄文時代の骨角器、国指定の漁撈具など多くの貴重な資料が収蔵されていましたが、大震災による津波で被災しました。海と共に営まれた人々のくらしと自然をカンバン、ハンテンや縄文時代の漁撈具、釣り針（骨角器）の展示を通じてご紹介します。

展覧会　関連事業

● 講演会　「甦る。ふるさとの宝物 津波で被災した資料再生の軌跡」

日時：11 月 4 日（日）　9：30　～12：00（受付 9：00～）
場所：女子美術大学（杉並校舎）1 号館 2 階　1201 セミナールーム
講師：文化庁　岩手県立博物館　陸前高田市立博物館　職員による
定員：50 名
※先着順・聴講無料・申込不要。

● 安定化ワークショップ

日時　：11 月 4 日（日）　13：00～17：15
場所：女子美術大学（杉並校舎）1 号館 1 階　アートセミナー室
講師：女子美術大学染織文化資源研究所 研究員
陸前高田市立博物館 職員等
定員：20 名
※参加費無料。申込必要。
申し込み方法　往復はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、
下記までお送りください。10 月 22 日必着
〒252-8538　神奈川県相模原市南区麻溝台 1900
女子美術大学 10 号館 3 階 1034　染織文化資源研究所
「甦る。ふるさとの宝物ワークショップ」宛て
★講演会、ワークショップと続けて受講することができます。昼食は各自ご持参ください。
近くにコンビニがありますので、そちらを利用することもできます。

● 記念講演会　「博物館資料が語る。気仙地方の人々と自然」

日時：11 月 23 日（金・祝）（受付 13：00～）
場所：女子美術大学(杉並校舎)7 号館 7201 教室
講師：国立科学博物館　真鍋　真氏
陸前高田市立博物館　熊谷　賢氏
定員：100 名
※先着順・聴講無料・申込不要。

展示作品紹介

「箱根山から広田湾を臨む」
本学准教授・広瀬晴美が 2018 年 8 月に現地を取材し制作した作品

ハンテン

修理前

修理後

トラマイ（部分画像）

陣羽織

陸前高田市・根岬梯子虎舞の画像
画像引用：http://www.uchinome.jp/event/traditional/tradi17_1.html

女子美×文化財レスキュー

甦る。

ふるさとの宝物

津波で被災し修復された陸前高田市立博物館所蔵品

2018
11.1.THU ▶ 12.6.THU
（展示替え有り）

開館時間｜10:00-17:00　　入館料｜無料

会場｜女子美術大学110周年記念ホール
（女子美術大学杉並キャンパス）
〒166-8538 東京都杉並区和田1-49-8
TEL：03-5340-4500（代表）
東京メトロ丸ノ内線 東高円寺駅下車 徒歩8分

休館｜土・日曜
※ただし11月3日（土・祝）・4日（日）・23日（金・祝）は開館

主催｜・津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関連携に関するプロジェクト
・女子美術大学

女子美術大学
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

二〇一一年三月十一日に発生した巨大地震とその後の津波によって、地域に伝わる文化遺産、自然遺産及び博物館資料の多くが被災し、甚大な被害を受けました。未曾有の自然災害発生を受け、陸前高田市立博物館では文化庁の支援を得ながら、国内の様々な機関と連携し、被災した資料の救出と再生に取り組んでおり、その成果は大津波プロジェクト実行委員会主催の展覧会にて全国各地で公開されています。

二〇十二年より被災した染織品の保存修復に取り組んでいる本学においては、「甦る。ふるさとの宝物」展として、染織品を中心とした安定化処置後の資料展示及び、その手法の公開を行います。また展示期間中に、気仙地方の歴史、人々の営みに焦点を当てた講演会を行います。

この展覧会を通じ、未だ救出されたままの状態で待っている膨大な数の資料の再生が円滑に進み、被災地の博物館機能再生に寄与すると共に、今後発生が懸念される大規模自然災害に備えることができれば、大きな喜びです。

本学にて修理を行った染織品一例

《陣羽織》　陸前高田市立博物館所蔵

修理前　　修理後

《緑灰網目模様おめし》　陸前高田市立博物館所蔵

修理前　　修理後

《水色地松模様長袴》　陸前高田市立博物館所蔵

修理前　　修理後

表面図・左より　《両あぐ（釣針）》、《筥迫（歌舞伎小物）》、《ウキダマ（漁撈用具）》、《かんざし（歌舞伎小物）》、《ハンテン（国・登録有形民俗文化財、陸前高田の漁撈用具）》
全て陸前高田市立博物館所蔵
背景に使用した絵画《箱根山から広田湾を臨む》（部分）は、本学洋画専攻准教授・広瀬晴美が2018年8月に現地を取材し制作したものです。

関連事業

11/4（日）　「甦る。ふるさとの宝物　津波で被災した資料再生の軌跡」

① 講演会　先着順・聴講無料・申込不要

場所｜女子美術大学（杉並校舎）1号館2階
　　120｜セミナールーム
時間｜9：30～12：00（受付9：00～）
講師｜文化庁　岩手県立博物館
　　陸前高田市立博物館　職員による
定員｜50名

② 安定化処理ワークショップ　参加費無料・申込必要

場所｜女子美術大学（杉並校舎）1号館1階アートセミナー室
時間｜13：00～17：15
講師｜女子美術大学　染織文化資源研究所　研究員、
　　陸前高田市立博物館　職員等
定員｜20名
申込方法｜往復はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、下記までお送りください。※10月22日必着

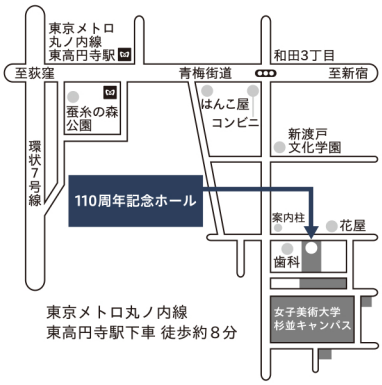
〒252-8538　神奈川県相模原市南区麻溝台1900
女子美術大学10号館1034　染織文化資源研究所
「甦る。ふるさとの宝物ワークショップ」宛て

※講演会、ワークショップと続けて受講することが出来ます。昼食は各自ご持参ください。近くにコンビニがありますので、そちらを利用することが出来ます。

11/23（金・祝）　記念講演会　先着順・聴講無料・申込不要
「博物館資料が語る、気仙地方の人々と自然」

場所｜女子美術大学（杉並校舎）7号館　720｜教室
時間｜13：30～16：00（受付13：00～）
講師｜国立科学博物館　真鍋　真氏
　　陸前高田市立博物館　熊谷　賢氏
定員｜100名

女子美術大学　110周年記念ホール（女子美術大学杉並キャンパス）



東京メトロ丸ノ内線
東高円寺駅下車 徒歩約8分